



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 ワタミ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7522 URL <https://www.watami.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 渡邊 美樹  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 渡邊 将也 TEL 03-5737-2288  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	62,555	5.7	3,402	157.6	4,674	20.9	3,652	92.9
2023年3月期第3四半期	59,166	26.7	1,320	-	3,865	394.8	1,893	-

(注) 包括利益2024年3月期第3四半期 5,837百万円 (4.9%) 2023年3月期第3四半期 5,562百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	82.19	-
2023年3月期第3四半期	46.61	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	55,955	22,951	40.8	260.52
2023年3月期	57,050	17,807	30.9	129.40

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 22,802百万円 2023年3月期 17,654百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	7.50	7.50
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 2024年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,300	5.6	3,000	103.4	4,400	13.3	3,500	109.0	87.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	42,684,880株	2023年3月期	42,684,880株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,609,107株	2023年3月期	2,700,557株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	40,034,343株	2023年3月期3Q	40,618,116株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	0.00	0.00	0.00	4,000,000.00	4,000,000.00
2024年3月期	0.00	0.00	0.00		
2024年3月期（予想）				4,000,000.00	4,000,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(収益認識関係) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかに回復傾向にあります。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、2類相当から5類感染症に変更されたことから行動制限がなくなり、国内消費はコロナ前の水準に向け徐々に回復しつつあります。一方で、中東情勢の悪化、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う原材料価格の高騰や、急速な円安が助長する物価高、人手不足による人件費の増加が続くなど依然として不透明な状況であります。飲食業界全体もこのような経済環境を反映し、客数増加による売上増加の一方、原価、人件費等の経費が増加するなど、依然として厳しい外部環境にあり、国外も同様の状況です。

当社グループはこのような環境下においても、「地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになろう」というグループスローガンのもと、各事業分野においてお客様のありがとうを集める活動を展開してまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①国内外食事業

国内外食事業におきましては、5店舗の新規出店と13店舗の撤退を行い、当四半期連結会計期間末の店舗数は339店舗となりました。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症に変更されたことから、行動制限がなくなり、コロナ前の水準に向け徐々に回復しつつある中、国内外食事業における売上高は23,557百万円（前年同期比129.5%）、セグメント利益は960百万円（前年同期は1,613百万円の損失）となりました。

#### ②宅食事業

宅食事業におきましては、当四半期連結会計期間末の営業拠点数は525ヶ所となりました。調理済み商品の累計お届け数は46,744千食（前年同期比98.5%）となっております。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症に変更されたことから、中食需要が減少したため、調理済み商品のお届け数が前年同期比1.5%減少し、減収減益となっております。

その結果、宅食事業における売上高は31,117百万円（前年同期比90.6%）、セグメント利益は3,418百万円（前年同期比68.6%）となりました。

#### ③海外外食事業

海外外食事業におきましては、7店舗の新規出店と2店舗の撤退を行い、当四半期連結会計期間末の店舗数は55店舗となりました。新型コロナウイルス感染症の収束による影響により、増収増益となっております。

その結果、海外外食事業における売上高は5,453百万円（前年同期比135.7%）、セグメント損失は23百万円（前年同期は697百万円の損失）となりました。

#### ④環境事業

環境事業におきましては、電力小売事業を中心に展開しております。減収となりましたが、仕入単価の減少により増益となりました。

その結果、売上高は1,807百万円（前年同期比91.9%）、セグメント利益は364百万円（前年同期比513.8%）となりました。

#### ⑤農業

農業におきましては、有機農産物の生産・販売、酪農畜産、乳製品の販売を行っております。売上高は407百万円（前年同期比75.2%）、セグメント損失は92百万円（前年同期は101百万円の損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの成果は、新型コロナウイルス感染症の収束による行動制限の撤廃により、国内外食事業、海外外食事業における増収が進み、売上高は62,555百万円（前年同期比105.7%）となり、営業利益は3,402百万円（前年同期比257.6%）、経常利益は4,674百万円（前年同期比120.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,652百万円（前年同期比192.9%）となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症に変更されたことから行動制限がなくなり、コロナ前の水準に向け国内外外食事業は徐々に回復し、売上高の増加及びこれまで進めてきた生産性向上、固定費削減により、着実に業績は回復してきております。

様々な経済環境の変化、顧客ニーズの変化に対応するべく、「ミライザカ」、「鳥メロ」などの居酒屋業態、「焼肉の和民」、「かみむら牧場」などの焼肉業態、「から揚げの天才」、「オリーブチキン」などのテイクアウト・デリバリー業態、「TGIフライデーズ」等ハレの場を提供する業態など様々な業態を展開し、成長基盤の整備を強力に進めた結果、増収増益となりました。

宅食事業においては、テレビショッピング放映による広範囲にわたる購買層の宅食需要の取込、健康意識の高まりはあるものの、コロナ禍の外出自粛の撤廃による宅配需要の減少により、調理済み商品の累計お届け数は46,744千食（前年同期比98.5%）となっており、減収減益となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比1,095百万円減少の55,955百万円となりました。流動資産は、前期末比1,323百万円減少の40,672百万円となりました。現金及び預金は1,758百万円減少しておりますが、有利子負債（短期借入金、長期借入金、社債及びリース債務の合計額）は返済により4,954百万円減少しており、有利子負債から現金及び預金を除いた純有利子負債は△10,019百万円となり、前期末より3,195百万円減少しております。

固定資産は、前期末比228百万円増加の15,282百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、新規出店及び国内の外食店舗設備等の減価償却等により前期末比63百万円減少の6,249百万円となりました。無形固定資産は、ソフトウェアの取得及び償却等により前期末比69百万円減少の1,102百万円となりました。投資その他の資産は、投資有価証券の購入、差入保証金の増加等により前期末比361百万円増加の7,931百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比6,239百万円減少の33,003百万円となりました。流動負債は、未払金の減少及び短期借入金の返済等により前期末比2,366百万円減少の15,223百万円、固定負債は、長期借入金の返済や長期リース債務の減少等により前期末比3,873百万円減少の17,780百万円となりました。このうち有利子負債（短期借入金、長期借入金、社債及びリース債務の合計額）は、前期末比4,954百万円減少の19,727百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、配当による資本剰余金の減少828百万円及び利益剰余金の増加3,652百万円並びに円安等による為替換算調整勘定の増加2,158百万円等により前期末比5,144百万円増加の22,951百万円となりました。これらの要因により、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は40.8%と改善するとともに、当座比率は220.2%及び流動比率は267.2%と一定の財務安全性の水準を確保しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,505	29,746
売掛金及び契約資産	3,134	3,799
有価証券	4,204	3,423
商品及び製品	474	711
仕掛品	449	482
原材料及び貯蔵品	500	526
その他	1,743	1,999
貸倒引当金	△15	△16
流動資産合計	41,995	40,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,686	3,681
機械装置及び運搬具	821	914
土地	336	336
リース資産	740	536
建設仮勘定	148	87
その他	579	691
有形固定資産合計	6,313	6,249
無形固定資産	1,171	1,102
投資その他の資産		
投資有価証券	2,527	2,691
差入保証金	4,395	4,638
投資固定資産	0	0
その他	949	907
貸倒引当金	△302	△306
投資その他の資産合計	7,570	7,931
固定資産合計	15,054	15,282
資産合計	57,050	55,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,237	3,884
1年内償還予定の社債	100	100
短期借入金	5,726	4,463
リース債務	560	490
未払金	4,189	2,480
未払法人税等	616	454
未払費用	1,712	1,988
賞与引当金	606	340
役員賞与引当金	24	-
販売促進引当金	12	24
その他	803	997
流動負債合計	17,589	15,223
固定負債		
社債	50	-
長期借入金	17,227	14,055
リース債務	1,016	617
資産除去債務	1,894	1,666
その他	1,464	1,439
固定負債合計	21,653	17,780
負債合計	39,243	33,003
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,910	4,910
資本剰余金	17,019	16,190
利益剰余金	△3,589	62
自己株式	△3,738	△3,600
株主資本合計	14,601	17,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	37
為替換算調整勘定	3,043	5,201
その他の包括利益累計額合計	3,052	5,238
新株予約権	21	18
非支配株主持分	131	130
純資産合計	17,807	22,951
負債純資産合計	57,050	55,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	59,166	62,555
売上原価	25,940	26,351
売上総利益	33,226	36,204
販売費及び一般管理費	31,905	32,802
営業利益	1,320	3,402
営業外収益		
受取利息	26	424
有価証券利息	49	167
設備賃貸収入	82	77
助成金収入	1,602	47
為替差益	887	820
雑収入	288	377
営業外収益合計	2,936	1,915
営業外費用		
支払利息	184	226
設備賃貸費用	77	80
持分法による投資損失	18	12
固定資産圧縮損	-	161
雑損失	111	161
営業外費用合計	392	643
経常利益	3,865	4,674
特別損失		
固定資産除却損	4	24
減損損失	1,464	340
特別損失合計	1,468	364
税金等調整前四半期純利益	2,396	4,310
法人税、住民税及び事業税	553	644
法人税等調整額	△36	14
法人税等合計	516	658
四半期純利益	1,880	3,651
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,893	3,652

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,880	3,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	28
為替換算調整勘定	3,690	2,158
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	-
その他の包括利益合計	3,682	2,186
四半期包括利益	5,562	5,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,575	5,838
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	△1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,396	4,310
減価償却費	1,508	1,343
減損損失	1,464	340
賞与引当金の増減額 (△は減少)	152	△291
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	1	11
受取利息及び受取配当金	△75	△592
支払利息	184	226
為替差損益 (△は益)	△919	△760
固定資産除却損	4	24
差入保証金償却額	27	21
売上債権の増減額 (△は増加)	334	△671
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△203	△283
立替金の増減額 (△は増加)	70	△33
未収入金の増減額 (△は増加)	49	△38
未収消費税等の増減額 (△は増加)	36	△5
仕入債務の増減額 (△は減少)	797	621
未払金の増減額 (△は減少)	△125	27
未払費用の増減額 (△は減少)	280	253
未払消費税等の増減額 (△は減少)	273	△216
預り金の増減額 (△は減少)	125	120
その他	△313	320
小計	6,070	4,727
利息及び配当金の受取額	28	612
利息の支払額	△189	△228
法人税等の支払額	△774	△979
法人税等の還付額	2	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,136	4,132
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,313	△1,520
有形固定資産の売却による収入	2	1
無形固定資産の取得による支出	△356	△276
資産除去債務の履行による支出	△362	△45
定期預金の預入による支出	△39,193	△37,734
定期預金の払戻による収入	40,729	37,495
投資有価証券の取得による支出	△5,703	△3,857
投資有価証券の償還による収入	-	3,464
差入保証金の差入による支出	△67	△524
差入保証金の回収による収入	466	264
貸付けによる支出	△20	△12
貸付金の回収による収入	30	31
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	42	-
その他	△94	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,840	△2,746

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	41	-
長期借入れによる収入	1	-
長期借入金の返済による支出	△4,290	△4,396
社債の償還による支出	△50	△50
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△643	△444
自己株式の取得による支出	△0	-
自己株式の処分による収入	-	89
配当金の支払額	△365	△778
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△11	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,317	△5,580
現金及び現金同等物に係る換算差額	813	183
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,207	△4,011
現金及び現金同等物の期首残高	10,971	11,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,764	7,615

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	宅食	海外 外食	環境	農業	計				
売上高										
日本	17,993	34,352	-	1,966	542	54,854	102	54,957	-	54,957
東南アジア	-	-	4,018	-	-	4,018	-	4,018	-	4,018
米国	190	-	-	-	-	190	-	190	-	190
顧客との契約から 生じる収益	18,184	34,352	4,018	1,966	542	59,064	102	59,166	-	59,166
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	18,184	34,352	4,018	1,966	542	59,064	102	59,166	-	59,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58	-	-	172	197	428	141	569	△569	-
計	18,242	34,352	4,018	2,138	740	59,492	243	59,736	△569	59,166
セグメント利益又は 損失(△)	△1,613	4,985	△697	70	△101	2,644	△59	2,584	△1,263	1,320

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農業テーマパーク事業及び労働者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,644
その他	△59
全社費用(注)	△1,263
四半期連結損益計算書の営業利益	1,320

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

撤退予定等の店舗資産に係る減損損失を「国内外食」セグメントにおいて1,072百万円、「海外外食」セグメントにおいて94百万円、それぞれ計上しております。

また、ソフトウェアに係る減損損失を全社費用において297百万円計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,464百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	宅食	海外 外食	環境	農業	計				
売上高										
日本	23,326	31,117	-	1,807	407	56,659	211	56,870	-	56,870
東南アジア	-	-	5,453	-	-	5,453	-	5,453	-	5,453
米国	231	-	-	-	-	231	-	231	-	231
顧客との契約から 生じる収益	23,557	31,117	5,453	1,807	407	62,344	211	62,555	-	62,555
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	23,557	31,117	5,453	1,807	407	62,344	211	62,555	-	62,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	-	-	257	118	376	412	789	△789	-
計	23,559	31,117	5,453	2,064	526	62,720	624	63,344	△789	62,555
セグメント利益又は 損失(△)	960	3,418	△23	364	△92	4,627	16	4,644	△1,242	3,402

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農業テーマパーク事業及び労働者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,627
その他	16
全社費用(注)	△1,242
四半期連結損益計算書の営業利益	3,402

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

撤退予定等の店舗資産に係る減損損失を「国内外食」セグメントにおいて235百万円、「海外外食」セグメントにおいて104百万円、それぞれ計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては340百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。